

■第四次国分寺市子ども読書活動推進計画（案）の策定に係るパブリック・コメントの意見について

○パブリック・コメントに対する意見について

意見の募集期間：令和6年11月21日（木）から令和6年12月20日（金）まで

意見をお寄せいただいた方の数：10人（個人10・団体0）

お寄せいただいた意見の数：51件

「反映状況」について

有：計画に反映する意見…1件

無：計画に反映しない意見…37件

済：計画案に記載済みの意見…13件

No.	本編 ページ	項目	いただいた意見の概要	市の考え方	反映 状況
第2章 これまでの取組（第三次計画の重点取組）					
1	P3	2 小学生を対象とした取組	小学校で主に行われている取組事例を「3 中高生・YA世代を対象とした取組」に記載してはどうか。	小学生を対象とした取組は、主にP3に記載いたします。	無
2	P4	3 中高生・YA世代を対象とした取組	YA向け図書の充実について、数値が示されていない。	YA世代のニーズを反映した蔵書構成を心掛けていますが、 ご意見 については今後の参考とさせていただきます。	無

3	P 6	5 関係機関・団体との連携に関する取組	文庫おはなしグループリスト(紙)は、どこへ向けて配布されているか。	文庫おはなしグループのリストは、「読み聞かせ講習会」で配布しています。	無
4	P 6	5 関係機関・団体との連携に関する取組	「関係機関への広報」の関係機関とは、どのような機関を指すのか。	学校及び児童館・学童保育所・親子ひろばを指しています。	無
5	P 6	6 図書館事業の広報・子ども読書活動普及の促進に関する取組	図書館の広報活動の実績について具体的に知りたい。	チラシの配架先は主に学校、児童館、学童保育所、親子ひろば等です。	有
第3章 アンケート及びヒアリングの概要					
6	P 9	調査対象を小・中 各2校に絞った理由を明記してほしい。		学校の位置、児童・生徒数、特別支援学級の設置状況及び最寄りの図書館からの距離などを考慮し第三次計画と同様に小・中各2校に絞りました。	無
7	P 9	1 アンケート概要	不読のアンケートは、小学校中学年2校のアンケートでは少ないのではないか。	対象の小・中各2校については、東西の地域性、市立図書館への通いやすさや学級文庫の利用に違いのある学校を対象として、児童・生徒の幅広い読書活動の特性を調査し、一定の傾向は把握できると考えています。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無

8	P9	1 アンケート概要	アンケートに本をどのように・誰と選ぶのかの設問を入れて欲しい。	今回の調査項目には入れておりませんが、第五次計画のアンケート実施時に検討させていただきたいと思います。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
9	P15	2 ヒアリング概要 ④ 配慮を必要とする子どもたちの読書環境について	「りんごの棚」の資料について、絵本以外に学齢期、YA期の資料も充実させてほしい。子ども向け読み物の大活字本、バリアフリーや障害についての本など、幅広く取り揃えてほしい。	P30の「(1) だれもが使いやすい図書館環境の整備」に掲げておりますが、幅広く取り扱うよう検討していきます。	済
10	P15	2 ヒアリング概要 ④ 配慮を必要とする子どもたちの読書環境について	絵本コーナーに立ち入りにくい子どものために、「りんご」以外の名称の棚を設置してほしい。	「りんごの棚」の活動は32年前に始まり徐々に世界に広まりつつあります。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
第4章 計画の基本構想					
11	P20	3 計画の目指す姿と計画目標	計画目標の「主体的な読書活動」に学校教育の中でもしっかりと取り組むことを明記するとよい。	明記についてはご意見として受け止めさせていただき、P19「2. 子どもの読書を支える環境」の中で、学校と連携しながら取り組んでいきます。	無

12	P20	3 計画の目指す姿と 計画目標 目標2 いつも身近に 本がある環境	本を提供するだけではなく、周辺の大人によるブックトークや読み聞かせの重要性を図書館から学校に働きかけてほしい。	大人によるブックトークや読み聞かせの重要性を伝えることは大切なことと認識しています。P25「(2) 学校における読書環境づくりの主な取組(継続的な読書環境の支援)・学校での図書館利用ガイダンスを実施など」を通じて学校図書館へ伝えていきます。	済
13	P20	3 計画の目指す姿と 計画目標 目指す姿	(「目指す姿」の文言の)本との「出会い」という漢字は、正しくは本との「出会い」ではないか。	物と物、もしくは人と物とがあうことを指す「出会う」となりますが、人と人があうことを指す「出会う」の意味を込めて第四次計画では使用しています。	無
第5章 取組の方向性					
14	P22	目標1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (1) 乳幼児とその保護者に向けた働きかけ	選りすぐりの5冊ぐらいの本の中から、お母さんにわが子への1冊を選んでもらって、プレゼントするブックスタートを実施してほしい。	ブックスタートのご提案については、関係課と検討し、絵本を知っていただく機会として、幼い子のいる親子向けには、子育て相談室の「ファーストバースデーサポート」事業にて絵本リストを配布しています。更により多くの方に知って頂くために(P23)母子手帳発行時に絵本リストを提供していきます。	無

15	P22	目標 1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (1) 乳幼児とその保護者に向けた働きかけ	団体貸し出しの利用拡充について、平日に加えて土日も対応してほしい。 また、個人利用者と同様にカード利用もできる仕組みにしてほしい。	保育園・幼稚園の団体貸出については、勤務体制などから土日は対応をしておりませんが、カード利用も含めご意見として今後の参考とさせていただきます。	無
16	P22	目標 1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (1) 乳幼児とその保護者に向けた働きかけ	出前授業の目標指数を載せてほしい。	取組の方向性ごとに、目標指標として数値を掲げていますが、個別取組の数値は載せておりません。今後の参考にさせていただきます。	無
17	P23	目標 1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (2) 低学年の子どもとその保護者に向けた働きかけ	お勧め本のリスト設置数を増やすことが、どの程度読書啓発につながるのか。	P32「必要な人に届く情報の発信」の取組と同様に必要な情報を必要な人に届けることは読書啓発につながると考えています。読書啓発の効果については、検証の仕方を検討・工夫していきます。	無
18	P23	目標 1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (3) 妊婦とその家族に向けた働きかけ	絵本リスト等の配布のみではなく、乳幼児検診時に読み聞かせをして選ぶ本のポイントを伝えるなどの出前事業を行い、保護者への積極的な働きかけを行うべき。	積極的な働きかけは大切です。妊婦とその家族に向けた働きかけ(P23)の取組を踏まえて検討していきます。	無

19	P23	目標 1 読書習慣の定着(乳幼児～小学校低学年) (3) 妊婦とその家族に向けた働きかけ	ブックスタート事業を実施してほしい。ブックスタートとしておススメ本をランダムにプレゼントする事業に取り組んでほしい。	No.14 でお示ししたとおりです。	無
20	P24	目標 2 いつも身近に本がある環境 (1) 家庭における読書環境づくり	未就学児については、親が記録を書くのではなく読書通帳のように子どもが自分でアクションを起こして印刷でき、達成感が得られるような取り組みにしてほしい。	子ども読書手帳 (P24) については、子どもたちの読みたい・書きたい気持ちを促す工夫を検討します。	無
21	P24	目標 2 いつも身近に本がある環境 (1) 家庭における読書環境づくり	子ども読書手帳に、公共図書館の貸出しの読書記録を活かしてほしい。	まずは、子どもたち自らが書くことで達成感が得られるようなものを工夫していきます。読書記録の活用についてはご意見として今後の参考とさせていただきます。	無
22	P24	目標 2 いつも身近に本がある環境 (1) 家庭における読書環境づくり	読書手帳について、感想を書くノートのようなものでは勉強臭が強く、楽しめない。子どもに意見を聞いて楽しく本が読める工夫をしてほしい。	子どもたちの意見を聞き、子どもたちの読みたい・書きたい気持ちを促す工夫を検討します。	無
23	P25	目標 2 いつも身近に本がある環境 (2) 学校における読書環境づくり	学校への配本も含め、学級文庫の運用を検討してほしい。	学級文庫の運用についての課題等は把握しておりますので、P25 「(2) 学校における読書環境づくり」の主な取組(小中学校学級文庫の充実)で取り組んでいきます。	済

24	P25	目標 2 いつも身近に本がある環境 (2) 学校における読書環境づくり	司書教諭、学校司書の取組について計画に明記すべき。	各校には、司書教諭・図書主任を中心とした読書環境の組織的な推進を図るよう示しており、学校が毎年度作成している「読書活動に関する指導の全体計画・年間指導計画」に司書教諭、学校司書の取組を含む、学校の取組が示されています。	無
25	P25	目標 2 いつも身近に本がある環境 (2) 学校における読書環境づくり	市立図書館職員の出前事業等で、図書館のカードの作り方やインターネットによる取り寄せ方法を教えるなど学校と連携し図書館の利用を促すような工夫をしてほしい。	図書館のカードの作り方等周知が行き届いていないなどのお声を伺っています。P25「(2) 学校における読書環境づくり」の主な取組（継続的な読書習慣への支援）にて取り組んでいます。	済
26	P25	目標 2 いつも身近に本がある環境 (3) 学校における読書環境づくり	計画の中での学校での取組の扱いが薄すぎる。	ご意見として受け止めていただき、学校と連携しながら取り組んでいます。	無
27	P26	目標 3 主体的な読書活動（小学校中学年から高校生）	高学年から中学生は習い事や塾で平日公共図書館に足を運ぶ時間がないため学校図書館で本を手に入る機会が増えるよう公共図書館・学校図書館における、中学・高校生対象の蔵書数の増加を計画の目標に入れてほしい。	各小中学校には学校図書館司書が在任し、児童・生徒にあった図書の選定・購入に努めています。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無

28	P26	目標3 主体的な読書活動（小学校中学年から高校生）	公共図書館の読書カードをつくり、ネットから予約して本が借りられることの周知を図り、学校の図書館教育において公共図書館の利用促進を図ってほしい。	No25 でお示したとおりです。	済
29	P26	目標3 主体的な読書活動（小学校中学年から高校生）	小学校高学年から中高生の子どもたちの、市立図書館の利用カードの登録率を載せてほしい。	ご意見として受けとめさせていただき、第五次計画で検討していきます。	無
30	P27	目標3 主体的な読書活動 （3）子ども同士の読書を通じた交流の場の設定	図書館での中高生、大学生向けの本の読み合いや課題図書について語り合うイベントや限られた人間関係になりがちな思春期の子どもたちの交流の幅を広げる異世代交流事業などを希望する。	読書を通じた異世代交流については、P26「主体的な読書活動（小学校中学年から高校生）」の主な取組である （1）子ども参加型の事業展開、（3）子ども同士の読書を通じた交流の場の設定の事業で取り組んでいきます。	済
31	P30	目標5 配慮を必要とする子どもたちが楽しめる読書環境 （1）だれもが使いやすい図書館環境の整備	布絵本の充実を含め「リンゴの棚」を充実してほしい。	「りんごの棚」の充実は大切なことです。P29「配慮を必要とする子どもたちが楽しめる読書環境」における主な取組（P30）（1）だれもが使いやすい図書館環境の整備にて取り組んでいきます。	済
32	P31	目標6 必要な人に届く情報の発信	小学校高学年～中学生の、公共図書館利用率を上げるための施策を入れてほしい。	図書館ホームページの充実や対象者別に広報すること等により、取り組んでいきます。	済

33	P31	目標 6 必要な人に届く情報の発信	高学年～中高生に、パスワードを利用した予約システム等の周知・啓発を行ってほしい。	No. 25 でお示しした通りです。	済
34	P32	目標 6 必要な人に届く情報の発信 (1) 効果的な情報発信	おすすめ本掲載のリストやリーフレット等の配布場所を増やすだけではなく、司書や担任もしくは公共図書館員による子どもたちへの積極的な働きかけが必要。	No. 25 でお示しした通りです。	済
35	P32	目標 6 必要な人に届く情報の発信 (1) 効果的な情報発信	図書館情報の配架場所の増加を目標値に設定するならば、増加が図書館や図書の利用率の上昇につながっているのか、具体的に調査して数値で示すべき。	計画を進めて行く中で成果を確認していきます。	無
No.	いただいた意見の概要			市の考え方	反映状況
計画全体に関するもの					
36	公共図書館のYAコーナーの蔵書が古すぎる。アニメの原作になった話題のライトノベルや漫画のノベライズなど子ども達がまず読みたいと思うような蔵書を学校図書館と連携して選書してほしい。			ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
37	図書館ホームページの新刊本の検索システムを改善して、YAコーナーの利用を促進してほしい。			今後、検索システムの改善を検討し、利用促進につなげ、P32「対象者別の広報」の取組を通じて対応していきます。	済

38	公共図書館中心の子ども読書活動推進計画ではなく、学校図書館との2つの軸を持った子ども読書活動推進計画であることが重要であると考えます。	市立図書館と学校図書館については相互に連携・補完をしながら児童・生徒の読書活動の充実を図っています。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
39	第3次計画と同様に、計画の取り組みと成果を数値的に振り返り、今後の方向性を示してほしい。	第三次計画の取り組み成果等を踏まえ、今後の方向性を第四次計画で示しています。	無
40	計画の内容が、ほぼ図書館課の取組に終始している。学校指導課の内容が全く掲載されていないので、入れるべきである。14 ページ①②のヒアリング調査をもとに今後5年間に市全体の取組として学校で何を行うかは計画の中にいれるべきである。	学校図書館と連携を取りながら、読書活動の推進を図っています。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
41	計画から図書館課の取り組みしか見えない。市全体としてどのように目標を達成するかを示してほしい。	市全体の子どもの計画として、目指す姿を具現化するために必要な主な取組を、必要に応じて関係課と連携して行うことにより目標の達成を目指します。	無
その他			
42	図書館を利用していない人たちの読書を促すための具体的施策を示してほしい。	図書館情報紙、ホームページ、エックス等の充実を図り、対象者別の発信を実施することにより、図書館情報を発信し読書の促進を図っていきます。	済
43	小学校で、市として読書感想文コンクールに応募しているか教えてほしい。	学校ごとに応募しています。	無

44	専門知識を要する専門職としての司書の待遇を改善してほしい。	学校司書につきましては、専門職として「国分寺市会計年度任用職員の採用、勤務時間、報酬等に関する規則」を踏まえて、採用しているところですが、ご意見として承ります。	無
45	市内の小中学校には1校1名専任の学校司書が配置されています。学校司書の資質向上も含め、これからの具体的な方策を示してほしい。	令和5年度より年1回の学校司書連絡会を設定しており、令和6年度も継続して開催する予定です。情報共有や学校間の連携の強化を目的としており、資質向上に資するものとも考えておりますがご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
46	小学校高学年に理解できるような、子ども版の概要版を作成すべき。	第四次計画では子ども版について作成予定はありませんが、第五次計画の参考にさせていただきます。	無
47	どんなアンケートやヒアリングをしたのか、それについて保育園や司書の先生方がどのようなご意見を寄せて下さったのかがほとんど分からない。ヒアリング結果、アンケート結果は、資料編にすべて掲載していただきたい。	アンケート・ヒアリング資料に関しては、概要としてお示ししておりますので、全体的なことは把握できると考えています。そのため資料編での掲載は予定していませんが、ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無

48	学校での読書活動について次回計画立案の際は学校指導課等学校関係者も参加して策定してほしい。	本計画案の作成において、学校関係者が委員になり協議に参加しています。	無
49	子ども向けの地域資料でこくベジ関連の資料が少ない。	子ども向けの地域資料については発行物がありますが、引き続き蔵書の充実を図っていきます。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無
50	小学校では家読を実践している学校が数校あります。「家読」への支援をしてほしい。	P24「家庭における読書環境づくり」の主な取組の「子ども読書手帳」の配布により「家読」の支援をしていきます。	済
51	目標値に市立図書館における子どもの延べ利用者数、年間貸し出し冊数などを設定して、分かりやすい数値目標をたてるべき。	第四次計画については、各取組の方向性に見合った目標指標を設定しています。ご意見については今後の参考とさせていただきます。	無